

名 称	鹿沼市小中学校再編計画策定に向けた意見交換会(東大芦地区)について
日 時	令和6年5月30日(木)19時00分~19時50分
場 所	文化センター 大会議室
出席者	参加者:19名
内容及び 結果等	<p>【質問】</p> <p>西小学校は築47年経っている。統合した場合、建物の建替えは想定しているか。</p> <p>【回答】</p> <p>西小学校は、耐震化工事を終えた北小学校を除くと一番古い建物である。市の長寿命化計画でも西小の建物の更新は上がっており、優先順位が一番高い状況である。</p> <p>西小の更新は必ず行うが、再編内容によって受入れる児童数が変化するため、更新の内容については定まっていない状況とご理解いただきたい。</p>
	<p>【質問】</p> <p>骨子p.2にある児童生徒数見込みの算出根拠は何か。</p> <p>【回答】</p> <p>令和10年の児童生徒数見込みは、住民登録の情報による各町で生まれた子どもの数をもとに算出している。令和15年については、国立社会保障・人口問題研究所が出している市町村別将来人口推計と各町の生まれた子供の数の傾向から算出した。</p>
	<p>【質問】</p> <p>先日、小学校に伺う機会があり、先生方が苦勞されている姿を目にした。再編について、先生方を対象としたアンケートは実施しているか。</p> <p>また、適正な学級規模や人数などがあれば、お示しいただきたい。</p> <p>【回答】</p> <p>先生方へのアンケートは実施しておらず、代表の方や校長会への意見聴取などをもとに骨子を作成した。なお、保護者へのアンケート調査は、あくまでも受け手側の意識調査を目的に実施したものである。</p> <p>人数等の適正規模について、国の基準では1学級35人を基準とし、小・中学校共に12~18学級が適正な規模とされている。</p> <p>しかし、鹿沼市で国と同様の基準を用いた場合、人を集めるために学区が広がり、遠くから1時間以上かけて通学する子どもが出てしまう可能性があり、地域の実情や地形などを鑑み、鹿沼市教育ビジョンで鹿沼市の適正な規模を設定してきた。</p> <p>今回の再編は、鹿沼市で設定した適正規模を下回る学校が発生してきたため、適正な規模を維持するために提案したものである。</p>
	<p>【意見】</p> <p>再編の趣旨は理解したが、東大芦と加蘇地区・南摩地区が統合するイメージが湧いていない。</p> <p>資料でも学校は地域コミュニティの核ということが示されているが、2地区の説明会において、地域の方は納得したのか。核として残してほしいという声もあるのではないかと。</p>

	<p><b>【回答】</b></p> <p>2 地区の意見交換会の反応について、地域の中でも様々な意見があるが、地域としての大まかな流れを説明する。</p> <p>加蘇地区については、地域住民も保護者もある程度方向性がそろっており、児童生徒数が減少している実情から、早期の統合に向けて動いている印象を受ける。市としても、早期の対応が必要と考えている。</p> <p>南摩地区については、地域への残留・再編案通りの統合・栗野地区への統合など様々なご意見があり、地域としての方向性が決まっていない状態である。しっかりと時間をかけ、方向性を決めていきたいと考えている。</p> <p>また、学校の地域コミュニティの核としての位置付けについて、市としても地域と学校の関わり方を研究している。</p> <p>小山市への視察では、地域の行事に統合校から他の地区の子どもも含めて体験しに行く取組を行っており、従来よりも広い地域の子供達に文化を継承できる機会となるため、鹿沼市でも実施したいと考えている。</p> <p>～事務局から事務連絡～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 いただいた意見は、全地区終了後、個人情報に配慮した形で HP 上に掲載させていただきます。</li> <li>2 今後のスケジュールとしては、6月までに全 15 地区の地域住民向け意見交換会を実施し、7月からはいただいた意見を踏まえた検討、9月にパブリックコメントの実施、10月に計画策定を目指している。</li> <li>3 計画策定後は、改めて地域に訪問して説明を予定している。</li> </ol> <p>&lt;閉会&gt;19:50</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校再編の目的</li> <li>・小中一貫教育について</li> <li>・鹿沼市小中学校再編計画骨子及び鹿沼市の小中学校の配置図</li> <li>・アンケート用紙</li> </ul>